（別添資料１）

事業所名　SMILE KIDS KURA

支援プログラム（参考様式）

作成日　令和7 年　1 月　15 日

法人（事業所）理念		感謝の輪を広げ『ありがとう』が溢れる社会を実現します		
支援方針		子どもたちの無限の可能性に希望を		
営業時間		10 時　0 分から　19 時　0 分まで	送迎実施の有無	（あり）　なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	挨拶、検温、手洗い、身支度、はじまりの会（今日一日の見通し）など、場に合った行動を学ぶ その日の予定を確認し見通しを立てた支援をする 係活動の経験を通し責任を持たせることで自己肯定感を育んでいく 片付けなどはゲームの一部として組み込んでいく		
	運動・感覚	着席、バランスボール、縄跳び、鉄棒、マット運動などから体を動かす遊びで体力向上につなげていく はさみ、えんぴつなどの道具を使い指先での適度な力加減を身につける 粘土やスライムなどの材料を使い感覚遊びで五感と想像力を身につける		
	認知・行動	プリント、工作、パズル、プットインなど限られた選択肢から課題を選ぶ場面をつくる 物の認識、識別するためのカードゲームやマッチングゲームを行う コップ、かばんなど日常的に使用する物の名前を言いながら指さしすることで、認識力を高める 自分の感情をコントロールできるようにクールダウンしたり、居心地の良い場所を見つけられるよう助言する		
	言語 コミュニケーション	挨拶、SSTを通し、友達や職員との関わりの機会を持つ 偽マイクを使用しターンテイキングを行う 支援中だけでなく送迎時などに、今日あった出来事や興味のあるものについて話す 活動の中でグループディスカッションを行い、意見を述べる機会をつくる 小グループで協力して完成する活動を組み込む		
	人間関係 社会性	集団活動、余暇活動を通じ、他児とのふれあいを持つ中でマナーやルールを伝える 普段から相談しやすい環境づくりを意識し、悩み事や困ったことがあった時は大人に相談しやすい関係性を作る 公共の場での適切な振る舞いをロールプレイで練習し、確認する 自分の事は自分で決める(自己決定）、自分でやる場面を増やす		
家族支援		学校やご家庭での様子を伺う中で、困り事や先を見据えた支援の共有を行い、ともに考えていける場を設ける。	移行支援	進級や進学、事業所の併用などに際し、助言や支援を行ったり、関係者との情報共有や連絡調整などを行う。
地域支援・地域連携		日ごろから挨拶や交流を心掛け、地域の方に事業所を認識してもらう。また、地域のイベントなどに積極的に参加し、障がいの有無を越えたふれあいの機会が与えられるよう努める。	職員の質の向上	特性を理解し、利用者の気持ちに寄り添える姿勢で支援を行えるよう企業内研修や外部研修などに参加できる機会を設けている。
主な行事等		季節ごとの行事：夏祭り、バーベキュー、焼き芋、クリスマス会、節分、6年生を送る会など、季節を感じられる行事を利用者と一緒に企画している		